

鍋横かわら版

発行：鍋横区民活動センター運営委員会
 〒164-0012 中野区本町 5-47-13
 TEL:03-3383-2733 FAX:03-3383-2734
 メール:nakano_nabeyoko@chic.ocn.ne.jp
 ホームページ:http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp

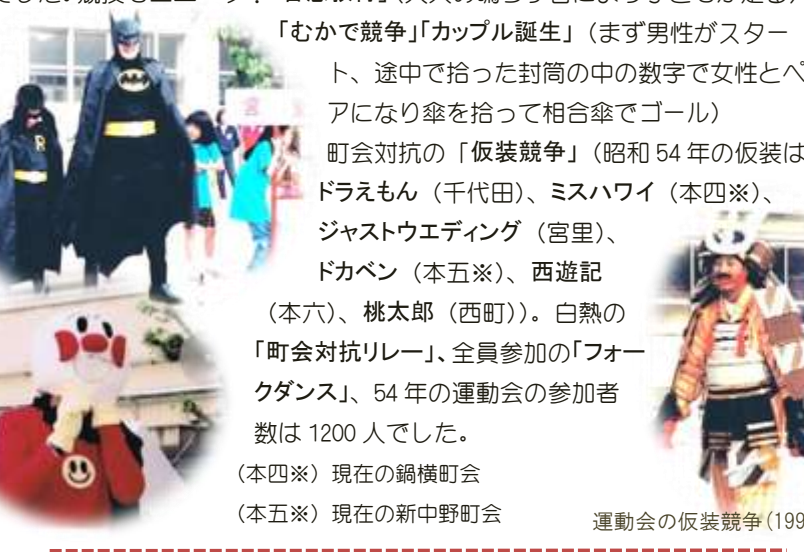
10月 は鍋横地区まつりです。

地区まつりを「地域のまつり」として、世代を超えて盛り上げていこうと、昨年度から「まつり事務局」が出来て、新しいイベント企画にも知恵を絞っています。今回の鍋横かわら版では、過去の地区まつりを振り返りながら、「鍋横地区まつり」を紹介してみたいと思います。

Since 1979
 最初の鍋横地区まつりは「運動会」と「児童作品の展示」（国際児童年だったので、鍋横大通商店会と鍋横商店街振興組合の協力で商店街のアーケードに1週間展示）、地域センターの集会室を利用している団体の「作品展」（個人作品も募集）が行われました。
 基本方針は「すべて実行委員が企画し、自らの手で運営する」というものでした。



かつての運動会は中野本郷小学校の校庭で行われました。町会対抗種目も行われ、鍋横六町会の親睦と連帯の場として鍋横地区ぐるみの一大イベントでした。競技もユニーク！「音感教育」（大人の鳴らす音により子どもが走る）、



運動会の仮装競争（1997年）

鍋横地区まつり

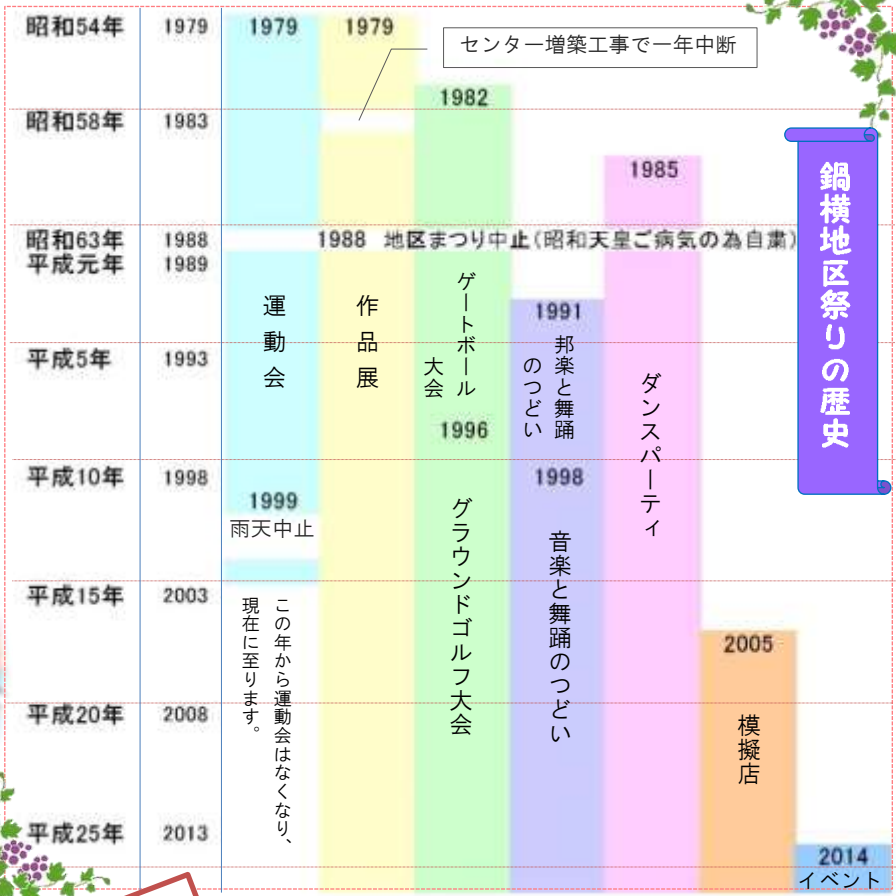
グラウンドゴルフ大会 10/4 (日) 第二中学校校庭
文化祭 10/23 (金) 24 (土) 25 (日)
 鍋横区民活動センター
 作品展示、音楽と舞踊のつどい、子育てひろば
 模擬店、体操、朗読、マジック、輪投げ 他
ダンスパーティ 10/31 (土) 鍋横区民活動センター
なべよこハロウィン 10/31 (土)
 鍋横区民活動センター、鍋横商店街
 詳しくはポスターをご覧ください

鍋横地区まつり 時代と共に・・・

今から37年前、昭和53年（1978）12月に中野区役所の鍋横出張所が「鍋横地域センター」に変わり、よりよい地域づくりのための地域の活動拠点となりました。「鍋横地域協議会」もこの年に発足し、メンバーは町会自治会、商店会、PTA、防犯関係、防災関係、行政協力員、子ども会や育成団体、婦人団体、福祉団体、文化活動団体と30名の委員構成でした。当時は教育委員の区民投票条例が公布（1979.5月）されたり、区民が活発にまちづくりに参加しようとする住民参加の意識が現れます。

中野区全体で行われた第1回中野まつりは、昭和51年（1976）「中野区民まつり」として始まりました。「鍋横地区まつり」は鍋横地域センターになった翌年の昭和54年（1979）から始まり、それ以前は「パンポン大会」（ピンポンの屋外版）が行われていたそうですが、はっきりとした記録はありません。

参考：なべよこ地域ニュース（昭和54年～）、中野区



鍋横地区祭りの歴史

2015

現在の「鍋横地区まつり」は・・・

木口弘実行委員長のもと、副実行委員長は佐藤富代本六町会長、関正行千代田町会長、会計監査は町会の回り持ちで今年度は鍋横町会・宮里町会です。渉外、庶務、会計等祭りの実務を行う「まつり事務局」を川井陽子さん、山崎由紀子さん、太田陽子さんが担当し、鍋横区民活動センター運営委員会事務局がサポートしています。

各部門毎に部門会を開き、部門長を中心に自主運営を行っています。

「地区まつり」予算額 昔と今は・・・昭和57年度（1982）の鍋横地区まつりの区交付金は34万円、協賛金や町会負担金を合わせて約60万円。今年度の中野区公益活動政策助成金は6万7千100円で、町会負担金と繰越金合わせて予算額は15万3千450円です。